

名古屋市「HP」充実へ

ひきこもり

地下鉄駅案内図

児童用に市政紹介

名古屋市ホームページ（HP）を充実させる。28日の市議会一般質問で、市のHPの充実を求める質問が相次ぎ、市は新たな「ひきこもり」地下鉄駅案内図、「小学生用方針」のページを作る方針を明らかにした。それぞれ市のHP（http://www.city.nagoya.jp）を充実させる。28日の市議会一般質問で、市のHPの充実を求める質問が相次ぎ、市は新たな「ひきこもり」地下鉄駅案内図、「小学生用方針」のページを作る方針を明らかにした。それぞれ

本的情報を紹介する。用トイといった施設の無を知らせる文字情報だけだった。新たな体系的な案内図を「ひきこもり」担当者は「ひきこもっている人の家族に、相談の電話をするにも勇気がいいる。基礎データはHP上で確認できる状況」を「ひきこもり」として紹介する。交通局は市営地下鉄の全路線の案内図を今年度中に掲載する。これまで「ひきこもり」や身障者

名古屋市は、市役所のホームページ（HP）に、子供向けのコーナーを設ける。ルビをつけるなど小学生向けの内容で、分かりやすく市政を解説する。

小学生向けのコーナー開設へ

28日の市議会一般質問で明らかにした。市役所のHPは98年5月開設したが、大人を対象にしているため、子供には言葉や内容が難しい。東京都や広島市などでは、すでに子供向けコーナーの設置が始まっている。

名古屋市役所ホームページ

内容は、市が小学4年生を対象に、毎年8月中旬に開いている「こども市政教室」を基に作成する。市政教室は、市役所の業務を解説し、市長室や議場などを見学するが、抽選で親子50組に限定されている。応募者は例年定員の倍ほどという。

市政情報課は「市政教室に行けない場合でも、HPで見てもらいたい。学校にもパソコン整備が進んでいるので、授業の導入にも役立てば」と、活用を期待している。市政教室を開く8月中旬を目標に立ち上げる方針。【五味香織】

2001年(平成13年)6月29日(金曜日)

中 日 第11

「ホームページ」子ども

「ホームページ」子どもに感じてもらいたい。市のホームページに子ども向けのページを設けてはどうかと、三輪芳裕氏（公明）が提案。諏訪一夫市民経済局長が「作成に努める」と、開設準備を進める意向を示した。市は現在、広報なごの子ども版「キッズなご」を発行しているが、パソコン授業の普及などに対応するため、インターネットでも市政を学んでもらえるようにする。開設時期は未定だが、毎年夏休みに開催している「こども市政教室」の資料を、ホームページにも見られるようにする。